

2020年8月5日

学長メッセージ ～後期大学方針について～

本学においては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、6月下旬まではオンライン授業、6月下旬以降はオンライン授業を基本にしつつ、実験・実習等の一部の科目について対面授業を行う措置を講じてきました。この間、学生の皆さんには多大な不便を強いることになり、非常に心苦しく感じています。

学期を通してほぼ全ての授業がオンラインで開講されるという大学にとっても未曾有の経験でしたが、皆さんが熱心に授業に取り組んだ結果、高い学修成果が得られたとの声が学生と教員の双方から寄せられています。皆さんの努力に心から敬意を表したいと思います。

ご承知のとおり、感染が再び拡大しつつあります。このような状況の中で、後期の大学の活動をどう行うか慎重に検討を重ねてきました。

その結果、後期においても、学生及び教職員の健康と安全を第一に考え、「オンライン授業を基本とした上で、感染防止対策の徹底を前提に、実験・実習等の一部科目については対面授業を実施可能とする」こととしました。また、図書館や情報処理教室をはじめとする大学施設については、感染防止対策を講じた上で可能な限り学生の皆さんに開放し、より充実した学生生活にかなげていただきたいと考えています。「キャンパスに行きたい」、「大学施設を利用したい」という切実な声を数多くいただいており、その期待にできる限り応えていきたいと思っております。

一方で、現下の状況において、来学することに不安を抱く方もおられると思っております。そうした際は可能な限り配慮いたしますので、大学にご相談ください。

後期大学方針の内容は次頁のとおりですが、各授業の開講方法など詳細については、今後の感染状況等を注視した上で、9月初旬に改めてお示しする予定です。

新型コロナウイルスへの対応については、一人ひとりに極めて注意深い自覚ある行動が求められております。引き続き、本学の学生として自覚ある行動をお願いします。

学生の皆さんにとっても、大学にとっても、過去に例がない厳しい状況が続いています。しかしながら、オンライン授業から得られた成果など、こうした状況でなければ見出せない価値が少なからず存在することも事実です。大学での活動においても様々な制約がありますが、「今だからできる気付きや学び」に目を向け、この状況下での大学生活を実り多いものにしていきましょう。

東京都立大学学長 上野 淳

後期大学方針について(概要)

■後期大学方針(概要)について

□授業について

・オンライン授業を基本とし、感染防止策を講じた上で、実験・実習、演習及び一部科目については、対面授業も実施可能とします。

※大講義室での大人数講義はオンラインで行うなど、授業毎の受講者数と教室の収容人数を考慮の上、各授業の開講方法を検討する予定です。

※各授業の開講方法や各授業の受講に当たっての注意事項等の詳細は、9月初旬に大学ホームページ等でお示しする予定です。

※地方在住の学生等に対する配慮も引き続き行う予定です。

□大学への入構、各種大学施設の利用について

・大学施設等については、感染防止策を前提に、可能な限り学生の利用が可能な形とします。

・学生への入構規制はありません。施設利用等の用務がある場合、大学内に入構可能です。

□「学生生活に関する新型コロナウイルス感染防止ガイドライン(仮称)」の作成・配付

・学生生活を送る上で留意すべき事項をまとめたガイドラインを9月初旬に配付する予定です。

・各自内容をよく読み、感染防止対策の徹底につなげてください。

■今後の予定について

・9月初旬に詳細情報(各授業の開講方法、受講に当たっての注意事項、各施設の運用形態等)についてお示しします。

■留意事項

・上記方針については、今後の感染状況等により変更の可能性があります。

(感染拡大等により、全ての授業をオンライン形式に変更する可能性があります。)